

(様式)

総合工学委員会分科会の設置について

分科会等名：サービス学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	第3次産業は現在、雇用・GDPともに日本経済の約7割を占める重要産業である。その中心であるサービスについては科学的工学的手法の導入が進行しつつあり、また、特定の分野については教育組織が急速に増加している。しかしながら、サービス分野は経済学、社会学、工学など多数の学術分野が関連するために、サービスに関する学術的取り組みはまだ手探り状態と言わざるを得ない。 日本の持続的な経済成長のためには、サービスに関する学術的取り組みの方向性を日本学術会議として社会に対して明示していく必要があり、サービスの学術体系の在り方について議論するために、本分科会を設置する。
4	審議事項	サービスに関する学術的体系の審議に関するすること
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 ○常設
6	備考	※新規設置 本分科会は第一部から第三部までのすべての会員・連携会員の参画を求めるが、世話人が第3部機械工学委員会・総合工学委員会に所属しているので、総合工学委員会に設置する。